

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福岡県 】

福岡県立北九州高等学校

1 実践テーマ	【I・III・V】
2 実施対象者	福岡県立 北九州高等学校 第1学年 198名（体育コース40名）
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 教科名（スポーツ概論・LHR） ② 行事名（ ） ③ その他（高大連携事業） <p>(2) 地域における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	九州共立大学に出向き、ジャベリックスローを体験し、競技に関する知識や用具・施設についての理解を深める。スポーツに関する専門施設を見学する。また、デフサッカー日本代表選手をお招きし、パラリンピック・デフリンピックに関する知識や手話についての理解を深める。また、デフサッカーを体験することで、スポーツの意義や価値について関心を高める。
5 取組内容	<p>九州共立大学にて、日本オリンピック委員会の強化スタッフも務める専任講師の疋田晃久氏より、槍投げの道具、記録、投動作のバイオメカニクスを座学で学習し、陸上競技場のフィールドにて、アジア選手権や全日本選手権で活躍する学生から実技指導を受けた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>学校に持ち帰り、体育コースはもちろん、普通コースの生徒の授業でも実施し、生徒のオリンピック種目への関心を高めた。</p> <p>デフサッカー、デフリンピックについて学ぶ上で、スポーツ概論の授業でオリンピック、パラリンピック、デフリンピックについて取り上げた。体育理論の副教材や、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会のホームページの教材、全日本ろうあ連盟スポーツ委員会デフリンピック啓発ウェブサイトの資料等を活用し、授業を行った。</p>

	<p>デフリンピック2017サッカー日本代表の松元卓巳氏をお招きしました。デフサッカー体験では耳栓を使用し、実際に音が聞こえにくい状態で行った。</p> <p>講演会では、講師の準備したパワーポイントを見ながら、日常の挨拶を手話で行うなど体験も行った。</p> 
<p>6 主な成果</p>	<p>写真、動画、実物を見て、槍投げの種目についての知識の習得はもちろん、フィールドで実際にジャベリックスローを行い、投てき種目の奥深さ、上手く投げられた時の達成感、実際に槍を投げる事の難しさを経験できた。大学のスポーツ専門施設を見学し、生徒自身の将来の競技生活のイメージをつかむことができた。</p> <p>耳栓をつけてデフサッカーの体験を行うことで、はっきりと音が聞こえることの素晴らしさを感じることができた。周りの人の声の指示が聞こえづらいため、ジェスチャーやアイコンタクトの重要性を感じることができた。</p> <p>講演会の講師の説明で、ろう者はジェスチャーや口の形で話を読み取っていることを伝えると、マスクをつけている生徒が講師の質問に対して、マスクを外して応答する場面が見られ、社会での実践に繋がられているように感じた。</p> <p>オリンピックしか知らない生徒が、パラリンピック、デフリンピック、スペシャルオリンピックス等の国際スポーツ大会が存在することを知ることができた。</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>陸上競技の投てき種目の指導者がおり、各大会でも優秀な成績を収めている学生を輩出している、九州共立大学に高大連携事業の一環で協力をお願いした。</p> <p>スポーツの価値を高める上で、パラリンピックだけでなく、デフリンピックについて生徒が学習することができた。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>ジャベリックスローに関して、今回は1時間半の限られた時間の中で、講義と実技を行った。技能習得を考えると、もう少し時間を確保する必要があると感じた。</p> <p>デフサッカーに関して、今回は体験活動の内容は講師にお任せした。内容等の打ち合わせを密に行ったほうがスムーズに実施できたと感じた。耳栓をつけた状態から、外したときのクリアな音が聞こえたことへの生徒の反応が良かったため、講演で耳栓を着けさせても良いと感じた。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>九州共立大学との高大連携を活用し、ジャベリックスローだけではなく、器械体操などの多種目にわたって実施できればと考えている。</p> <p>北九州市とも連携し、パラリンピックスポーツの体験を含む講演を企画できればと考えている。</p>